

(第2号様式)

北山第2309号
令和5年3月20日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立北山高等学校
校長 眞榮田義光
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月15日 16:00~17:00	場所	北山高等学校	出席 状況	学校評議員2名 教職員6名
第2回	日時	令和4年12月20日 16:00~17:00	場所	北山高等学校	出席 状況	学校評議員2名 教職員4名
第3回	日時	令和5年3月15日 16:00~17:00	場所	北山高等学校	出席 状況	学校評議員4名 教職員6名

2 学校評議員に求めた事項

- (1) 令和4年度における各学期毎の教育活動全般に対する意見や助言。
- (2) 令和4年度における各学期毎の教育活動において課題となった事項に対する意見や助言。

3 学校評議員の意見

- (1) 定期検診における受診勧告後受診率の低さを改善するため、対策をとる必要がある。
- (2) 生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、環境を整える必要がある。特に学寮があるため、終日生徒が校内にいる状況となっており、防犯対策の整備を進める必要がある。
- (3) 学校評価において、前年度より評価が下がった項目については、分析・対応して欲しい。
- (4) 北山高校の魅力をもっとアピールして定員の確保に努めてもらいたい。
- (5) 地域との連携を行っている授業があるようだが、今後も積極的に進めて欲しい。

4 学校運営に反映した事項

- (1) 防犯上対策が必要な箇所を調査し、対応について検討した。
- (2) 各中学校における学校説明会においてPR動画を流したり、パンフレットの構成を工夫したりして魅力をアピールした。
- (3) 学校評価を分析し、課題改善に向け、次年度取り組むよう確認した。

5 課題その他

- (1) 近年、生徒の出身校の広域化や抱える課題の複雑化等、既存の体制・方策では対応が難しい状況が生じているため、今後意見を求めていきたい。
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら対面開催を行ったが、リモート開催についてその効果を分析しながら次年度検討していく。